

# R7 沖縄修学旅行 第2日目

首里城と国際通り 首里城の壮大な歴史に触れ、国際通りのにぎわいを満喫した一日。  
沖縄の文化と温かな人々にふれ、生徒たちの学びと笑顔が一層深まった貴重な時間となりました。





シュノーケリングは風の影響で中止となりましたが、バナナボートを2周行うことができました。生徒たちもとても楽しそうでした。バナナボートの順番を待っている間にはビーチバレーやドッチボールなどをしていました。日北生にとって、海は見慣れている場所かもしれませんが、沖縄の海はまた特別なものだったようです。多少のハプニングもありましたが、それも含めていい思い出と話す生徒の姿は、とても頼もしく見えました。文責 Y



文化体験では、おきなわワールドにて、まずはハブ博物公園にて、沖縄にいる危険な生物として有名なハブに関して学習しました。骨や牙などの模型の他に、液体に浸かった標本なども置いてあり、時間をかけてゆっくりと見て回る生徒の姿がとても印象的でした。その後、エイサーのショーを鑑賞し手拍子をしながら沖縄ならではの音楽で楽しい時間を過ごしました。

ショーを楽しんだあとは、玉泉洞に入りました。謎解きコースを選んだ生徒は何周も何周も玉泉洞に入り、難解な謎に生徒同士で力を合わせて挑んでいました。昨日入ったガマとはまた違う洞窟の雰囲気、様々な感想を持った生徒がいる様子でした。

玉泉洞謎解きコース以外には、琉球ガラス体験、ブクブク茶、手作りシーサー、シーサー絵付け、機織りの5つのコースに分かれ、それぞれ体験を行いました。どのコースでも、生徒たちの一生懸命な眼差しや、楽しく語り合いながら製作している様子は、普段の授業での様子とはまた違った生き生きとした日北生らしさがあって感じます。文責 S







**玉泉洞謎解き**  
神秘的な玉泉洞の美しい地形に息をのみ、地上では仲間と協力して謎解きに挑戦。自然の迫力と知的なワクワクがつまった、笑顔あふれる充実した一日となりました。

